

2025年4月3日
株式会社 揚羽

【講演レポート】2025年こそ始めたいインナーブランディングの進め方 インナーブランディングから始まる“利益を生み出す”仕組みづくり

コーポレートブランディング支援を行う株式会社揚羽（東京都中央区 代表取締役社長：湊 剛宏 証券コード：9330）の執行役員 ブランドコンサルティング部長の黒田天兵が、2025年2月13日と26日の両日、ELNETが主催する広報勉強会・コミュニティ「ELspot+（イーエルスポットプラス）」のセミナーに登壇。「2025年こそ始めたいインナーブランディングの進め方」と題した講演を行いました。



講演レポート全文は、下記でご覧いただけます。

【講演レポート】2025年こそ始めたいインナーブランディングの進め方

https://www.ageha.tv/magazine/magazine_corporate/2025inner/

■インナーブランディングを進める3つのステップ

インナーブランディングは、企業の価値や理念を社内に浸透させ、従業員がブランドを体現できるようにする取り組みです。継続的な成長を遂げる組織は、このインナーブランディングを適切に実施しています。具体的には、次の通り、ステップを3つに分けて進めます。

STEP1「言葉づくり」：企業理念や価値観を明確にし、従業員が共感できる「言葉」を策定。

STEP2「浸透活動」：策定した言葉を認知・理解・共感・行動・定着へとつなげる施策を講じる。

STEP3「相互理解」：従業員同士がブランドの価値を共有し、組織文化を強化。

■「利益率の改善」がブランディングのゴール

ブランディングの最終的な目標は「利益率の改善」です。社内向けのインナーブランディングは、企業の成長に不可欠であるものの、直接的な売上や利益につながりにくい側面があります。しかし、インナーブランディングによって確立された「ブランド」は、顧客の「ブランド体験」に直結するため、結果的に利益率の改善が見込めます。

■社内外のブランディングを一体化する「バタフライモデル」

ブランディングは企業の価値を高めると同時に、利益を生み出す仕組みづくりでもあります。社内と社外のブランディングを一体的に取り組むことで、企業のブランド力を最大化できます。そのため、弊社はインナーとアウターを両輪で実施する全方位のコミュニケーション「バタフライモデル」を提唱しています。この考え方は、インナーとアウターが矛盾しない言行一致型のコミュニケーションの方法論であり、ブランディングの理想的なスタイルです。

講演レポート全文は、下記でご覧いただけます。

【講演レポート】2025年こそ始めたいインナーブランディングの進め方

https://www.ageha.tv/magazine/magazine_corporate/2025inner/

■「ELspot+（イーエルスポットプラス）」について

「ELspot+（イーエルスポットプラス）」は、株式会社エレクトロニック・ライブラリー（略称：ELNET）と株式会社プラスカラーが主催する広報勉強会・コミュニティです。広報同士の交流を深め、広報活動のアップデートを実践する場として2023年7月に開設。“広報のサードプレイス”をコンセプトに掲げ、ユーザー企業様同士の繋がりからこの場所でしか生まれない＜企画型広報の創出＞を目的に活動しています。

URL：<https://www.elnet.co.jp/el/service/elspot/>

【会社概要】

会社名：株式会社揚羽

市場：東京証券取引所グロース市場（証券コード：9330）

資本金：2億7935万円（2024年9月30日時点）

所在地：〒104-0032 東京都中央区八丁堀2丁目12-7 ユニデンビル3F

設立：2001年8月

代表者：代表取締役社長 湊 剛宏

ミッション：一社でも多くの企業のブランディングに伴走し、日本のビジネスシーンを熱く楽しくする！

事業内容：ブランディング支援全般

支援領域：コーポレートブランディング／パーパスブランディング／インナーブランディング

アウターブランディング／サステナビリティブランディング／採用ブランディング

製品・商品・サービスブランディング 等

ブランディングにおけるコンサルティング、クリエイティブ、ソリューションまで一気通貫できるパートナーとしてご支援してまいります。

URL：<https://www.ageha.tv/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社揚羽 広報担当

TEL：03-6280-3336 Email：pr@ageha.tv FAX：03-6280-3337